

# 5 / 6 (ろくぶんのこ)

6月27日

No. 5

藤沢市立長後中学校

## 進路とは「社会に参加する」こと

夏休みまで1ヶ月を切りました。早いものですね。みなさんは来年の3月31日で、義務教育の年限が終了します(卒業式はもう少し前ですが)。9ヶ月後です。この9ヶ月のみなさんの中心の課題は、やはり「進路を決める」ということになります。

進路とは、広い意味で「これから自分が生きていく、生活していく」ための道を決める、ということです。といっても、少数の例(就職する場合や、プロの職業に就く場合など)をのぞくと、中学校を卒業した後の「進路」というと、ほとんど「進学」以外にないのが日本の現状です。

ですからみなさんが「進路」と聞くと、「あ、勉強」「ああ高校」と考えてしまうのも無理はないのですが、進路とは「進学すること」だけではありません。進路とは「社会に参加する」ことなのです。



### 社会では一人ひとりが「責任」を背負う

中学から高校へ進学して、誰もが感じるのが「自由」ということです。中学校時代に比べて、ルールや行動、持ち物の制限や、こうしなさいあしなさいと言われることも減りますから「やった!」となる人も多いかもかもしれません。

でも、その「自由」の裏側には「責任」ということが必ずついてくるのです。中学までは、自分が何かミスをしたり、いいかげんなことをして失敗しても、なんとかなりました。保護者や先生がフォローしてくれましたし、世の中でも「中学生だから」「子どもだから」と、許してくれることが多かったと思います。でも、もうすぐ「義務教育」からは、いい意味でもきびしい意味でも「解放」されます。責任は自分で背負うことになるのです。

中学3年は義務教育のまとめとして「責任」を学ぶ一年間だ、とうことを忘れてはいけません。どうすることが「責任」をとることになるのか、ということを入れてください。そして、それは決して「今突然」のことでなく、今までも学んできたはずのことです。

今回は「責任」として2つだけ確認しておきます。

#### ①時間の責任

時間を守ることで「社会」は成り立っています。もちろん提出物などの「締め切り」を守ることもそこには含まれます。ちなみに、私の勤務時間は8:25です。時間ギリギリに出勤したことはありません。遅くとも30分前には出勤して、机の整理をしたり、授業の流れを確認したり、同僚の先生方と話したりしています。みなさんの登校時間は何時ですか?遅刻ではなくてもギリギリ登校(廊下を走りながら教室に駆け込む)になっている人はいませんか?朝のHR前に「落ち着いて」授業準備できていますか?

#### ②あいさつの責任

「コミュニケーション」で「社会」は成り立っています。だから学校であいさつを学んでいます。いつでも誰にでも、よいあいさつをすることで、みなさんは「社会に参加する」意思を示しているのです。意思表示=自己表現ですから、あいさつには「返事」も含まれます。名前を呼ばれたら、理解ができたなら、指示やアドバイスをされたら、時にはお叱りを頂いたときなど、「はい」の意思表示を心がけましょう。

# シリーズ：心の支えになる言葉Ⅰ

元メジャーリーガー（野球選手）イチロー選手の言葉

誰にも「人より頑張る」なんてことはできない。

あくまでも自分をはかる「量り」は自分の中にある。

その「量り」を使いながら、

**自分の限界をちょっとずつ超えていく。**

そういう、少しずつの積み重ねでしか、自分を超えていくことはできないんです。



## 解説

人は言葉を使って生きています。言葉によって他人に意志を伝え、言葉によって他人の思いを受け止めています。

進路を考えることは「自分を考えること」であり、そのためには「自分を支える言葉」を見つけていくことも大切です。みなさんが「自分の心の支えになる言葉」を見つけられることを祈り、いくつか紹介していきます。

**今回のテーマは「自分を超える」。**

自分を否定する必要はありませんが、しかし、自分を変え、今の自分を超えていくことは誰にでも必要です。学校も、進路も、そのためにあるのですから。

Special guest : ふじキュン

長後中進路情報サイト <https://sites.google.com/fujisawa-kng.ed.jp/chougo-shinro>

（文責 進路担当: 清川）